

群馬大学工業会『さいたま支部便り』 No. 40

2022年12月吉日



朝晩の冷え込みも厳しくなってきましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

コロナ禍は、すでに第8波に入っており、年末年始にはかなり流行してくるのではないかと見られています。

今回はインフルエンザと同時発生になりそうですので、感染防止対策にこれまで以上に注意を払っていきましょう。

支部便り No.39から少し時間が空いてしまいました。


今回は、2022年度の連合支部行事の報告及び大学関係の記事をお届けします。

〔 2022年度の埼玉県連合支部行事の報告 〕

1. 7月17日 埼玉県連合支部主催第11回勉強会（さいたま支部が主催幹事）

浦和コミュニティセンターを会場とした対面方式とZoomオンライン方式をあわせたハイブリッド方式での講演会ということで進めてきましたが、コロナ禍第7波が急激に拡大しそうになったため、急遽、全面オンライン方式に切り替えて開催いたしました。

群馬大学工業会埼玉県連合支部
第11回会員勉強会



日本における燃料電池自動車のCO₂削減
可能性と水素生産システム的设计
ゴンザレス ファン

知能機械創製部門 理工学府
群馬大学
2022年7月17日

今回は、群馬大学理工学府のゴンザレス ファン先生に、現在目指そうとしている脱炭素社会に関するテーマで、エネルギー経済モデルを用いた燃料電池車のCO₂削減予測、持続可能な水素生産システムの予測といった興味あるご講演をお聞かせいただきました。皆さんの関心も高く、質問もたくさんあり、非常に有意義な講演会でした。

参加者：埼玉県連合支部 21名（さいたま支部 15名、川越支部 3名、熊谷支部 3名）
横浜支部1名、静岡連合支部2名、東海連合支部2名、和歌山支部1名 計 27名
詳細は、支部便りをメールで受け取った方は、下記 URL を開き、工業会ホームページ支部ニュースの埼玉県連合支部勉強会記載のPDFファイルをご覧ください。

[202208041244071165.pdf \(gkogyokai.com\)](https://www.gkogyokai.com/202208041244071165.pdf)

郵送で受け取った方は、①一般社団法人群馬大学工業会（公式ホームページ）
([gkogyokai.com](https://www.gkogyokai.com))を検索 → ②会員の集いの支部ニュースを開く → ③2022-08-04
「7月17日(日)埼玉県連合支部 第11回会員勉強会(講演会)開催報告」
を開いて、ご覧ください。

2. 10月13日 第8回『小江戸川越の史跡に触れて楽しむ集い』（川越支部が主催幹事）

コロナ禍で実施できなかったため、令和元年11月の第7回「新河岸川舟運の史跡めぐり」から3年振りの久々の再開となりました。

今年の川越まつりは川越市制 100 周年の記念イベントとなるため、多くの人出が予想されること、コロナ禍が完全に収束していないことを考えて、本番2日前の10月13日に、「川越まつりの準備風景見学会」ということで行われました。

参加者は川越支部3名、さいたま支部6名（うち奥様2名）とガイドの永井さんの10名。

あいにくの小雨の天気となりましたが、川越祭りの歴史を知る良い機会となりました。

見学巡回ルート：

氷川神社（山車行事のルート）→
宮下町山車展示所→本丸御殿→
三芳野神社→川越城中の門堀跡→
まつり会館→時の鐘



氷川神社



まつり会館



まつり会館
実物の山車

3. 10月28日 埼玉県連合支部主催ゴルフコンペ（熊谷支部が主催幹事）

10月28日（金）大麻生ゴルフ場にて、埼玉県連合支部主催ゴルフコンペが熊谷支部、川越支部、さいたま支部から6名が参加して行われました。

さいたま支部からの参加者は1名でした。さいたま支部から4名位参加したこともあります。今後、ゴルフを趣味とされている多くの方が参加していただけることを期待しております。



4. 11月23日 首都圏外郭放水路(地下神殿)見学会 (さいたま支部が主催幹事)

コロナ禍のため、2020年、2021年と中止してきました。今年は第8波の状況が心配でしたが、実施することとしました。

さいたま支部から11名(うち奥様が2名)、川越支部から6名(うち奥様が2名)、熊谷支部1名の18名の参加となりました。

祝日開催としたのですが、雨天となり12月並みの肌寒さでした。外の気温は11度、地下神殿の底の方が15度と暖かかったです。

さいたま支部では、新たに昭和52年卒の方が多く参加してくれました。また今回は奥様の参加も多くあり、新たな動きを感じました。

今後の行事を考えるうえで、祝祭日実施や見学先等、皆さんが参加しやすいことが大切との思いを強くしました。

調圧水槽 ……巨大空間は“地下神殿”

地下トンネルから流れてきた水の勢いを弱め、江戸川へスムーズに水を流すため、地下約22mの位置につくられた長さ177m、幅78m、高さ18mに及ぶ巨大水槽。

柱は長さ7m、幅2m、高さ18m、重さ500t、この柱が59本あり、水槽の天井を支えている。(この500t×59本の重しで押さえないと、地下からの力で浮き上がってしまうことになるそうです。)



調圧水槽(地下神殿)



第一立坑

〔 理工学部関連記事 〕

1. 群馬大学理工学部学園祭「群桐祭2022」

群馬大学理工学部の学園祭「群桐祭2022」が10月15、16の両日、桐生市天神町一丁目の桐生キャンパスで行われた。新型コロナウイルス禍の影響で、学園祭の開催は3年ぶり。学部3年生以下にとっては初めての学園祭となったが地域の人も大勢駆け付け、祭りを満喫していた。

新型コロナの感染拡大に伴い、2020、21年と中止された群桐祭。

テーマは「Together with群大!(群大とともに)」で、構内には研究室やサークルによる

模擬店が立ち並び、特設ステージではオーケストラコンサートやバンドライブなどを開催。景品付きのスタンプラリー、サイエンステクノ教室やサークル紹介といった屋内企画も用意された。

(桐生タイムス記事より)



2. 「第15回クラシックカーフェスティバル in 桐生」

11月6日(日)に、桐生キャンパスで、「第15回クラシックカーフェスティバル in 桐生」が3年ぶりに開催されました。

本行事は、桐生の産業と文化を発信する秋の祭典「桐生ファッションウィーク2022」の一環としてのイベントで、全国から結集した往年の名車約160台が展示され、約2万人(主催者発表)の来場者がイベントを楽しみました。



群馬大学工業会さいたま支部長 小西憲二
副支部長/総務委員長 井上 勝己

以上